

2023年4月26日

## 2022年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 学童保育 げんこつ組

代表者・役職名 氏名 中村 なつ

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

生きづらさを抱える中学生のための安心できる居場所づくり

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

友だちと自然に存分に触れて育ってほしいという保育方針のはちのこ保育園を卒園した子たちに、小学生になっても放課後はそのような場所を用意してあげたいという保護者の思いから、1987年に設立されました。現在は会員数38名。上記の内容で日常の学童保育を行う他、自然に触れる活動や親子寄席、各種祭りへの出店などにより、地域に広げた活動も行っています。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

げんこつ組卒業生で不登校になっている子が何人かいますが、どの子も感受性が強く、よく考える子たちで、その子たちが学校へ行かない自分を否定的にとらえ、自己肯定感が低いことが気になっていました。また、中学生になると何となく集まれる居場所が少なく、特に三鷹市にはほとんどないことから、学童保育の経験を活かして中学生の居場所づくりをしたいと考えていました。安心して過ごせる場になること、そして自己肯定感を育て、徐々に学歴の序列に縛られずに、自分の将来のことも考えられる場にしていきたいと考えています。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ・(月)~(金)の14:00~18:30と(土)や夏休みなどは9:00~18:30に来られるようにし、おやつや昼ご飯を提供し、外遊びや絵や工作など、それぞれが得意なことや好きなことで小学生の遊び相手として過ごしました。
- ・中学生だけで夕方遅くまで残り、室内ゲームやおしゃべりをして過ごすこともありました。また、OBの大学生ボランティアに付き合ってもらい、カードゲームや外でのサッカーや川遊びなどを通して交流しました。
- ・その他、小学生の新入生歓迎会や夏のキャンプ、お別れ遠足などにも同行し、面倒もみながら中学生同志楽しそうに過ごしていました。

夕食会をしたり、現役の高校の先生とお話しする機会もあり、中学校での価値観だけにとらわれず、視野を広げるきっかけづくりにもなったと思います。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- ・このような取り組みをしていると聞いて、卒業生が次々と来るようになり、当初の見込みより多くの子が集う場となりました。
- ・不登校になっていた子が、学校へ行っていないくても友だちやいろいろな人と交流することを通し、希望をもって高校進学をすることになりました。その過程では、偏差値だけにとらわれず、本音を話す交流をしたことで、自らを見つめ直し、自分を認められるようになり、大きく成長した様子がみられました。
- ・今まで小学校高学年の子は中学校を恐れていたところがありましたが、中学生になっても変わらずありのままの自分でいられる場があるということは安心につながります。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

- ・中学生の居場所として、小学生と交流し面倒も見ることが、自然体でいられるので、続けていきたいと  
思います。課題は人数が増えてくると面積が狭いということで、長期的には場所の問題を考えることも  
必要になると思います。
- ・来年度は夕方以降に中学生だけで過ごせる時間を持ち、夕食会なども定期的に行うことで、もう少し深  
く交流することも必要だと考えています。
- ・次期中学生になる子たちも参加希望をしていることから、さらに人数が増えていくことが予想され、現  
在は常勤スタッフが無給で行っていますが、スタッフの増員も視野に入れることが必要になるかもしれ  
ません。その際の人件費をどのように捻出するかを考える必要があります。

## 7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動 状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

